

取組みテーマ ⑥

地域特性を活かした企業支援

東部ものづくりネットワーク形成事業 (生野区・東成区)

生野区・東成区は古くからの製造業集積地で、現在も約4,000にのぼる事業所があり、いわば「モノづくりのまち」です。

平成17年度から地域のモノづくりの振興とモノづくり企業の交流と技術・製品のPR、また、地域住民に企業を知ってもらうことを目的に、地域企業・産業団体・支援機関・区役所が参画するモノづくりフェスタ実行委員会を結成し、「生野・東成モノづくりフェスタ」を開催しています。

【平成21年度の取組み】

①「モノづくりフォーラム2009」

(平成21年10月10日開催:参加者120名)

がんこフードサービス(株)小嶋会長の「がんこ一徹 なにわの和食王の経営手法を学び、不況を吹き飛ばせ」と題した講演と、日本政策金融公庫 田宮氏による「環境激変下を生き抜く企業経営」と題した関連セミナーを同時開催しました。

②「モノづくりフェスタ in 東成・生野2009」

(平成21年10月16日・17日開催:参加者1,300名)

生野区・東成区における優れた製品や技術を広く紹介するための展示会の開催と、神戸国際大学の中村教授を招いての講演会や、大阪産業創造館・大阪市信用保証協会による資金調達セミナーを開催しました。また、大阪工業大学や大阪市立生野工業高校の参画を得て、子ども向けの体験コーナーを実施しました。

③「モノづくりのまち生野」パネル展の開催(生野区単独実施)

生野区では二世帯・三世帯と続く「モノづくりの匠」が多く活躍されています。「モノづくりの匠」の情報や「モノづくり工場・工房見学会」の情報をパネルとして整理し、区役所や区役所主催の行事の場で展示しています。

④「モノづくり意見交換会」の開催(東成区単独実施)

平成20年度に、企業と区民とのネットワーク形成を図るため、それぞれの立場から意見を出し合う「モノづくり意見交換会」を設置しました。地元モノづくり企業と区民が、互いに共存できるまちづくりについて、さまざまな意見交換を行っています。



ものづくり地域プロモーション事業

(平野区・東住吉区)

平野区・東住吉区は「モノづくりのまち」であり、優れた商品や技術など、モノづくりをキーワードに、地域の企業、住民、学校などを結ぶ仕掛けづくりとして、平成17年度より「産業交流フェア」を実施しています。

本イベントを通じて地域の方々が地元企業に触れ、新たな発見をし、それぞれが連携することにより、活力あるまちづくりをめざしています。

来場者数も年々増加し、参加団体に地元高校や大学が加わるなど広がりをみせ、多くの人の交流が生まれており、今ではすっかり地域に定着したイベントとして親しまれています。



活力あるまちづくりに向けた区内企業 に対する支援(工業活性化) (西淀川区)

市内有数のものづくり企業が集まっている特性を活かしたまちづくりに向け、区役所に市内で唯一の工業活性化担当の配置や企業経営者と工業活性化研究会を設置するなど、区内企業の声を反映した効果的な事業に取り組んでいます。区内企業の体力強化のための企業ビジネスセミナーや、企業

間ネットワークの形成を図る交流会は、参加企業間のビジネスが成立するなど好評を得ています。小学生・中学生対象の区民工場見学会では多数の親子に参加いただき区内企業の技術力を紹介し、ものづくりの重要性を広くアピールしています。工業高校や大学と連携したインターンシップ(就業体験)を通して、地域の学生に将来の進路を考える機会を与えるなど区内企業の社会貢献の取組みをサポートしています。こうした取組みによる「地域との連携、企業間との連携のもと、安心してものづくりにとりくめるまち にしよどがわ」をめざします。



企業と連携したまちの活性化

なにわの日
(浪速区)

「なにわの日」事業は、「アート(音楽・芸術・技術)」をテーマに、通天閣での「通天閣ジャズライブ」や浪速区民センターでの「音楽仲間集まれコンサート」等、区民の方々が身近な施設を利用した芸術文化に親しめるイベントとして開催しています。

浪速区のPRと魅力再発見のための取組みを進めるため、浪速区内の団体・企業・区民・NPO などが業種を越えたネットワークを形成し、実行委員会という形で実行可能なイベントを、協働により実施しています。イベントの企画にあたっては、特に区民全体の約72%を占める単身世帯や他区の市民も参加しやすいことに留意し、一人でも多くの参加意識の向上に努めています。

今後も、こうした企業間でのコラボレーションによる事業展開の実現をめざしています。

